

2026（令和8）年度大阪大学大学院人間科学研究科  
博士前期課程入学試験＜一般＞（冬期）出題の意図

試験 科目	専門科目 B (教育学系)	講座		研究 分野	
----------	------------------	----	--	----------	--

( 3 枚中の 1 枚目)

(教育人間学)

問題 I

この問題は、人間の日常的な生活のなかに見られる抽象的・一般的な主題についていかに教育学的な観点ないし教育人間学的な観点から論じることができるのか、またその際、自分の独自性をいかに打ち出せるかを観るためのものである。

問題 II

この問題は、博士前期課程入学後、教育人間学・教育哲学・教育思想史の領域で研究を遂行していくためのレディネスが一定程度、そなわっているかどうかを観るためのものである。

(教育工学)

問題 I

問題 I は、昨今、一般に普及している「メタバース」と呼ばれるようなオンライン上で複数の参加者が同時に参加できる仮想空間について、教育における活用の可能性と課題や限界について論じるものである。その論述を通して、情報通信技術を教授・学習活動にどのように活用するかに関する知識や理解を示すことを求めている。さらにはその背景となる、人間や社会、教育問題に関する教養的知識、その知識に基づき思考する態度、批判的思考力および自身の意見を論理的に記述する能力を問う。

問題 II

問題 II は、教育工学研究に必要となる知識として、教育改革に関する教養的知識および、教育の方法、教育課程、教育評価、教育心理学、研究方法論、統計学に関する学術的知識の理解度を確認するものである。

(教育心理学)

問題 I

いずれも、教育心理学および発達心理学領域における基本的用語であり、理解度を確認するとともに、説明する際の文章力や表現力等を把握するための問いである。

問題 II

心理学研究法に関する基本的な知識を有しているか、量的研究法、質的研究法のそれぞれのメリットを踏まえて、リサーチクエスションを設定し、具体的な調査計画を立てることができるかを確認するとともに、説明する際の文章力や表現力等を把握するための問いである。

2026（令和8）年度大阪大学大学院人間科学研究科  
博士前期課程入学試験＜一般＞（冬期）出題の意図

試験 科目	専門科目 B (教育学系)	講座		研究 分野	
----------	------------------	----	--	----------	--

( 3 枚中の 2 枚目)

(臨床心理学)

問題 I

- 1) 心理療法における沈黙中に働く内省やイメージ等の意義についての理解を問う。
- 2) 産業領域の心理支援の基本知識である精神障害の予防のあり方や他職種連携の中の心理職の役割についての理解を問う。

問題 II

- 1) 面接における、面接者と被面接者の関係性に関する基本的概念についての理解を問う。
- 2) 臨床心理学での基礎的知識を問う。
- 3) 臨床心理学研究における重要な統計技法の理解を問う。
- 4) 障害児・者への心理支援に要する考え方に関する基本的理解を問う。

(教育社会学)

問題 I

学校教育の社会的役割について、基本的な知識と、社会状況の変化に対応した今後の見通しについて問う問題。社会化・選抜・配分といった社会学的観点からの学校教育の役割に関する基本的視座について理解できているかを確認するとともに、現在の教育環境の変化に応じて、こうした役割にどのような変化が生じ得るかについて、社会学的理論・概念をふまえて、論理的に思考する能力を備えているか確認することを意図している。

問題 II

教育社会学と調査研究に関わる基本的な語句の意味を理解し、簡潔に説明する力の有無を評価することを意図して出題した。

2026（令和8）年度大阪大学大学院人間科学研究科  
博士前期課程入学試験＜一般＞（冬期）出題の意図

試験 科目	専門科目 B (教育学系)	講座		研究 分野	
----------	------------------	----	--	----------	--

( 3 枚中の 3 枚目)

(教育文化学)

問題 I

近年、「教育格差」という言葉が一般に使われるほどに広がっている。しかし、その意味内容は様々である。本来、「格差」という言葉は、集団間に不公正な差異がある場合に使用されるべきであるが、単なる個人間の差を指し示す意味で用いられることもある。教育格差という概念をきちんと理解していることは、教育社会学的な調査研究に取り組むうえで、必須である。

また、研究に取り組むうえでは、そうした一般的に広がっている概念や言説を、自らの研究関心にひきつけて考察できることも重要である。以上の意図で出題した。

問題 II

教育文化学分野で研究を行うにあたって必要な教育学・教育社会学の重要概念・重要事項を理解できているかを把握するための問題である。